

論壇

経済支える観光産業

1年ぶりに沖縄に行く機会があった。基地問題など難しい政治問題を抱えながらも、沖縄経済は他の地域よりも元気だという印象を受けた。人口は全国最高の増加率だ。子供の数も多いが、他府県から移住してこる人も少なくないという。那覇の中心部のマンションや高級リゾート施設は、東京の人やアジアの富裕層がセカンドハウスとして活用している。

沖縄の経済を支える重要な産業が観光だ。那覇空港には台湾や韓国から多くのチャーター便や格安航空がやってきて、大量の観光客

東大教授(国際経済学) 伊藤 元重

をはき出していく。日本の本土からの旅客機も満員に近い。それに加えて、3千人も4千人もの収容人員がある大型クルーズ船が、中国から何隻もやってくる。4千人のクルーズ船が停泊すれば、150台ほどのバスに分乗した観光客が、大挙して買い物に行くことになる。

近く高級ホテルでゆつくりとビールを楽しむそうだ。2泊3日の駆け足の旅行とは違つ。こうした富裕層がいるので、高級ホテルが次々に建設される。観光業が栄えるためには、高級と大衆向けの両方がバランスよく存在することが重要だ。「山高ければすそ野も広くなる」という現象である。欧州の

将来明るい沖縄リゾート

最近の沖縄は低コストの旅行者ばかりではない。1泊で最低10万円はするような高級ホテルが次々にオープンしている。一部の富裕層は、那覇空港から名護の高級ホテルまでヘリコプターで移動するそうだ。

一部のアジアの富裕層は1週間

出す需要が、地域の経済を支えているのだ。

2月は通常の観光地は閑散期であるが、沖縄ではこの時期に大半のプロ野球球団がキャンプを張る。そのキャンプを自指して、ファンやマスコミなどが殺到するといふ。日本のプロ野球球団だけではない。韓国のプロ野球球団もキャンプを張るそうだ。日本の本土以上に寒い韓国の球団にとって

は、沖縄はキャンプにとって最適地なのだろう。

本土とアジアの間に

沖縄でキャンプを張るのはプロ野球だけではない。サッカーのチームの中にも、沖縄でキャンプをするところがあるそうだ。社会人の野球チームでも沖縄をキャンプ

地として選ぶところがあるといふ。閑散期の2月をフル活用できるということもあって、スポーツキャンプの促進は強力な観光戦略となる。

沖縄の立地はハワイに似たところがある。かつてハワイは米国の端にあつて、米国土土のリゾート地として発展した。しかし、ある時期から、日本をはじめとするアジアの観光客が増え始めた。アジアと米国土土の間にあるという立地が良かったのだ。

沖縄も同じだ。日本本土の端にある沖縄は、温暖なリゾート地として、日本の人にとって魅力的な存在だ。ただ、これは台湾や韓国の人にとつても同じだ。本土とアジアの間にある沖縄のリゾート地としての将来は明るい。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。